

## 「大草原からの贈り物～阿蘇山一周チャレンジキャンプ～」事業報告書

事業推進室長 安部 信吾

### 1 事業の概要

- (1) 趣 旨 自然環境に恵まれた「阿蘇」の大地をフィールドとした長距離ハイキング等を通して、同じ目的をもった仲間とともに困難に挑戦し、最後までやり遂げる力を育むとともに他者への思いやりや積極性などの自立的行動習慣を身につける。
- (2) 期 日 平成30年8月8日（水）～12日（日） 【4泊5日】
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家、阿蘇市、南阿蘇村、高森町
- (4) 参加者 24名（中学生：3年生1名、1年生3名 小学生：6年生11名、5年生9名）
- (5) 担当職員 安部 信吾（事業推進室長） 花田 誠（企画指導専門職）  
松元 延行（事業推進係長） 前田 夢依（事業推進係員）  
米村 竜太郎（事業支援室係員） 古閑 仁美（事務補佐員）  
教育実習生3名 法人ボランティア5名
- (6) 研修指導員 藤原孝誠氏（キャンプファイヤー指導） 前田崇徳氏（活動・安全指導）
- (7) 内 容 サイクリング、長距離ハイキング、野外調理、テント泊

### 2 成果と課題

#### (1) 成 果

- 参加者の感想には、「この5日間でたくさん歩いたり走ったりしてくたただけど、みんなでゴールできてよかったし、友達もたくさんできてよかった。」「この5日間で仲間と協力することの大切さ、ゴールした後の達成感を得ることができてとても楽しいものになりました。」「ゴールして思ったことは、自分ひとりじゃできなくて、班の仲間やリーダーがいてくれたからゴールできたんだと思いました。」など、5日間のキャンプを通して、はじめて出会った仲間と生活する中で仲間の大切さや協力することの大切さを学んだり、参加者全員でゴールできた達成感を味わったりするなど、この夏の思い出となったことがうかがえる感想が数多くあった。
- 看護師協会と連携し帯同させたことで、傷病者への迅速な対応ができた。そのため、参加者も安心して活動を行うことができた。
- 5日間の長期キャンプのため、ツイッターで子供たちの活動の様子を随時保護者に知らせることで、保護者も安心することができた。
- ボランティアと実習生を班付きリーダーとしたことで、子供たちとの関わりからいろいろなことを学び、成長を感じることもできた。

#### (2) 課 題

- 日焼けによる痛みを訴える子供がいた。日焼け防止のために長袖シャツを準備させる必要があった。
- 担当職員の数が足りず、担当以外の職員に荷物の運搬やボランティアの送迎等で協力をいただいた。担当者の確保とともに、全日程継続して帯同できるボランティアの確保が必要である。

### 3 事業の様子



テント設営



ふり返りの時間



サイクリング出発



阿蘇神社で女王祈願



南阿蘇湧水群ハイキングでちょっと一休み



最終日、出発前の円陣



阿蘇山一周のゴールの瞬間



全員集合写真